



地域の温かさに支えられて

校長 中西 建介

夏季休業中に発生した自然災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。熊本地震から月日が経過しましたが、今も復興への歩みは続いており、また、千葉県で発生した豪雨災害においても多くの方々が不自由な生活を送られています。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

今年の夏は猛暑の日が続いたかと思えば、急な雷雨や大雨に見舞われるなど、天候の変化が激しい毎日でした。気温や天候の変化に体調管理が難しかったご家庭も多かったのではないのでしょうか。そのような中でも、子どもたちは思い出に残る夏休みを過ごしたと思います。

私は、この夏休みに学区で開催されたお祭りや盆踊りに参加する機会がありました。会場には多くの子どもたちが集まり、笑顔いっぱいに夏のひとときを楽しんでいました。そこで特にうれしく感じたのは、本校の子どもたちが私を見かけると、「こんにちは。」「こんばんは。」と気持ちのよいあいさつをしてくれたことです。中には自分から進んで声をかけてくれる子どももいて、感心しました。学校での取組だけでなく、ご家庭や地域の皆様が日頃からあいさつの大切さを教えてくださっていることの表れであり、子どもたちの成長をととても頼もしく感じました。

また、お祭りの運営に携わってくださった地域の皆様の姿にも深く感謝の気持ちを抱きました。お祭り当日の賑やかな様子の裏には、打合せを重ね、準備を進めてこられたご苦労があります。子どもたちに楽しい思い出をつくってほしいという願いのもと、会場設営や安全管理に取り組んでくださる地域の方々の姿に頭が下がる思いでした。

さらに、お祭りや盆踊りを通して、地域の皆様が人と人とのつながりを大切にされていることを強く感じました。世代を超えて顔を合わせ、会話を交わし、笑顔で交流する様子からは、この地域ならではの温かさが伝わってきました。子どもたちは、こうした地域のつながりの中で多くの人に見守られ、支えられながら成長しています。改めて、本校の教育活動は地域の皆様の支えによって成り立っていることを実感する機会となりました。

長い夏休みを終え、学校には子どもたちの元気な声が戻ってきました。登校してきた子どもたちは、それぞれの思い出をうれしそうに話してくれました。どの話からも、有意義な夏休みを過ごしたことが伝わってきて、私もうれしく感じています。夏休み中に経験したさまざまなことが子どもたち一人ひとりの成長につながり、これからの学校生活にも生かされていくことを願っています。

まだまだ暑い日が続くことが予想されます。夏の疲れが出やすい時期でもありますので、ご家庭におかれましても引き続きお子様の体調管理にご配慮いただければ幸いです。学校におきましても、子どもたちが無理なく学校生活のリズムを取り戻し、安心して学びや活動に取り組めるよう努めてまいります。